

### 「敬業館の謎」(その2)

敬業館は、笠岡小学校の元々の古い学校です。笠岡で学問が始まった所だと聞いていました。それが本当かどうか調べました。まず、なぜできたのか。いつごろ誰が建てたのか。どれくらいお金がかかったのか。そして、先生や、生徒は何人ぐらいたったのか、どんな勉強をしていたのか、などです。(5年 田中 茉莉子)

#### 校名が、つながっている!?



敬業館→敬業校→敬業小学→笠岡小学→笠岡小学校→笠岡西小学校・笠岡東小学校→笠岡市立笠岡小学校

最初におどろいたことは、学校の名前が昔からつながっていたことです。

#### 敬業館が、できたわけ!

敬業館がどの様にしてできたのか調べてみると、今から215年前の江戸時代にできたことが分かりました。学校ができたのは、「わしらも、勉強したいのう!」と言ったことが、きっかけになったそうです。



#### 誰が、建てたのか? 笠岡のお金持ち(分限者)が、たくさん

お金を出し合って、早川代官さんをお願いしました。(5年 水金 弘貴)



#### どんな勉強をしていたのか?

初代の先生は、学校のプールから上の方にある「陣屋稲荷神社」の宮司をしていた小寺清先さんでした。生徒は笠岡周辺だけでなく、岡山県の東の備前という所や広島・山口・大分などの遠くからも大勢集まって来ました。ここで習ったのは、寺子屋の勉強(読み・書き・そろばん)より難しい漢書・四書・五経など中国の教科書を使っていました。しかし、勉強できたのは、裕福な家の子供に限られたそうです。いろいろ調べていると、敬業館は偉い人が大勢学んだ学校だったことがよく分かりました。(6年 森本 伸平)



#### 敬業館は、いつ頃まであったのか?



敬業館の先生は、小寺清先さんでした。先生は、27年の間教えて、その後は清先先生の子供や孫が、二代目と三代目の先生になりました。

学校を続けるためにはお金が必要で、幕府から助成を受けていました。その助成もなくなり敬業館はできてから85年ぐらいで廃校になってしまいました。

#### 近くに小寺家のお墓があります

初代の小寺清先先生は、1827年6月26日に80歳で亡くなりました。清先先生のお墓は敬業館のすぐ裏にあり、小寺家のお墓もたくさん並んでいます。6年生は、先生の命日の前に掃除をし、命日にはお墓参りをしてお花やお米、お線香などをお供えています。(5年 坂本 竣哉)

《参考資料》「笠岡の歴史Q & A」「笠岡市史」「百年誌(笠岡小学校編)」

《編集》森本 伸平、水金 弘貴、田中 茉莉子、坂本 竣哉

《写真》水金 弘貴